

5月臨時議会 委員会配属決まる

日本共産党

◆第1・2委員会に複数配置！
◆議会運営委員会に12年ぶりに2名入る！



5月19日の臨時議会で今年度の常任委員会などの配属が決まりました。日本共産党市議団は、5つすべての常任委員会に入るとともに、第1委員会と第2委員会に複数の委員を配置することができました。また、第5委員会では副委員長に就任しました。議会運営委員会には日本共産党から12年ぶりに2名入りました。それぞれの分野で市民のみなさんの声を市政に届けるためにがんばります。



第1委員会
(財政・総務・市民など)

熊谷敦子

西区・3期



第2委員会
(保健福祉・子ども・教育)

中山いくみ

幹事長 早良区・4期
議会運営委員会 運営理事



第3委員会
(経済観光文化・港湾・農水)

綿貫英彦

東区・3期



第1委員会
(財政・総務・市民など)

堀内徹夫

南区・1期



第2委員会
(保健福祉・子ども・教育)

倉元達朗

城南区・4期
議会運営委員会



第4委員会
(住宅都市・消防・地下鉄)

星野美恵子

団長 中央区・7期

第2委員会に共産党が2人いて頼もしい！

保育のことを審議する第2委員会に共産党が2人も入ってすごく頼もしいです。署名(請願)の審査をすると、いつも私たちの願いをズバリしてくれるのは共産党の議員だからです。期待してます！(Yさん)



第5委員会
(道路下水・水道・環境)

ひえじま俊和

博多区・5期
第5委員会副委員長

市議会議長＝おばた久弥(自民) 市議会副議長＝石田正明(公明)

福岡市議会の新しい構成
(2015年度)

会派名	自民党	公明党	市民クラブ	みらい福岡	共産党	維新の会	社民・市政	緑とネット	無所属
常任委員会の名称 (委員の定数)	20	11	7	7	7	4	2	2	2
第1委員会(13) [市長室・総務企画局・財政局 市民局・会計室・選管 人事委・監査・議会]	南原 茂 富永 計久 飯盛 利康 中島まさひろ	石田 正明 古川 清文	田中しんすけ 近藤 里美	三角公仁隆	熊谷 敦子 堀内 徹夫	天野 こう		荒木 龍昇	
第2委員会(13) [子ども未来局・保健福祉局 教育委員会]	おばた久弥 今林ひであき 調 崇史 稲員 稔夫	山口 剛司 楠 正信 大坪真由美	阿部 正剛	浜崎 太郎	中山 郁美 倉元 達朗	高山 博光	池田 良子		
第3委員会(12) [経済観光文化局・農林水産局 港湾局・農業委員会]	川上 晋平 大原弥寿男 津田信太郎 堤田 寛	黒子秀勇樹 高木 勝利	江藤 博美	笠 康雄 鬼塚 昌宏	綿貫 英彦	とみなが正博	落石 俊則		
第4委員会(12) [住宅都市局・消防局・交通局]	森 英鷹 福田まもる 橋田 和義 川上 陽平	尾花 康広 篠原 達也	太田 英二 田中丈太郎	国分 徳彦 平畑 雅博	星野美恵子				川口 浩
第5委員会(12) [環境局・道路下水道局・水道局]	光安 力 打越 基安 阿部真之助 大森 一馬	大石 修二 松野 隆	栃木 義博	藤本 顕憲	ひえじま俊和	富永 周行		森 あや子	新村まさる

戦争法案ストップさせよう!

日本共産党福岡市議団が本庁舎前で訴え



市庁舎前で「戦争法案阻止」を訴える日本共産党市議団（5月21日）

日本共産党福岡市議団は5月21日朝、登庁して行く市職員や通りがかった市民のみなさんにむけて、安倍政権が提出した戦争法案——海外でアメリカとともに戦争ができる国づくりを阻止しようとの訴えをおこないました。

この問題は4月の市議選でも日本共産党が最も重要な問題として市民に訴え、これを許さないことを公約していました。

みらい福岡の「自民党合流」協議

会派数・所属議員数の確定は、議会構成決定の大前提 党利党略で混乱もちこむ無責任ぶり

共産党が批判

5月19日の臨時議会を前に、みらい福岡（7人）が自民党会派への合流を申し入れたことが報道され、自民党と話し合いを継続していることが明らかになりました。

福岡市議会では、4月の市議選後の「各派世話人会議」で、今後4年間の各委員会の委員や正副委員長、監査委員などのポストの配分を議員数に応じて会派間で調整協議するのが慣例。会派の数や所属議員数が確定しなければ、こうした議会構成や会派控室の割振りが決定できないため、4月20日に会派届出が締め切られました。

自民党はまともに答えず

ところが、4月20日以降、みらい福岡と自民党は「どうなるか分からない」と言いながら、「とりあえずこれで」（自民党）などと配分協議を求める態度を示しました。日本共産党の星野団長は「7人のみらい福岡から自民党に何人行くのか分からない、会派がなくなるかもしれない、というのでは配分協議の前提が不確定ということであり無責任だ」と両会派を批判。

さらに、「最大会派で議会運営に責任を持つべき自民党としてどうか」と問いただしました。自民党はまともに答えず、公明党や市民クラブ（民主党系）、維新の会が擁護したため、配分協議が進行され、議会構成が決定されました。

選挙直後に合併 有権者への公約は？

そもそも「みらい福岡」の議員・候補として有権者に選挙で公約をしながら、選挙が終わったとたん、別の公約をしている会派に合流してしまうのは、有権者を愚ろうしていないか——星野団長が批判すると、みらい福岡の市議は「この行動が悪ければ4年後に有権者が審判を下す」と開き直りました。



星野団長
コメント

公正・民主的運営に奮闘

会派や人数を確定もさせずに議会を開くのは無責任であり、こんな対応は許されません。引き続き議会の公正で民主的な運営のために全力をあげていきます。